

第3回指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議

議事概要

日時：令和7年5月13日（月）15:00-16:30

場所 鹿児島県社会福祉センター 7階大会議室

指宿枕崎線指宿駅から枕崎駅までの区間における将来のあり方を検討する「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」について、第3回検討会議を開催したところであり、その議事概要は以下のとおり。

1. 開会

2. 冒頭挨拶 【鹿児島県総合政策部参事兼交通政策課長】

3. 報告

(1) 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議
の規約の改正について

4. 議事

○ 第1号 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）検討調査事業について
事務局から説明。

- ・ R7年度 of 取組を実施していくにあたっては、これまで蓄積されている既存のデータの活用や検討会議やワークショップでの意見を踏まえた、同線区の課題の整理や検討等が必要。
- ・ また、経済的価値を可視化するにあたっては関係者間での議論は一定の限界があると考えており、専門的な知見を有するコンサル業者への調査委託が必要だと考えている。
- ・ 事務局としては、業務委託により調査事業を実施し、公募型プロポーザル方式により、コンサル業務を選定することとしたいと考えている。仕様書等について、本日は協議をしたい。

(鹿児島県)

- ・ 実施要領案、仕様書案、採点表等をお手元に配布している。なお、仕様書案は各組織の意見を事前に集約したうえで事務局にて作成している。これらの資料や公募型プロポーザルの進め方などについても御意見をいただきながら、本日固めていきたい。

【ヒアリング審査の流れについて】

(ＪＲ九州)

当日の流れについて、事務局の考えを教えてください。

(鹿児島県)

- ・企画提案者が４者以上の場合は３者に絞ってからヒアリングを実施。
- ・提案者へのヒアリングについては、一コマ４０分で、冒頭２０分程度が提案者からの説明、その後２０分を質疑応答に充てるという想定。
- ・ヒアリングは、１日で終わらせた方がよいので、Ｗｅｂ実施を前提として日程調整させていただきたい。

(ＪＲ九州)

- ・日程調整が難しいかもしれないが、差し支えなければ対面で参加したい。

(神田教授)

- ・踏み込んだ質問がしやすいのは、対面での実施。

(鹿児島県)

- ・メリット・デメリットそれぞれあるだろうが、基本対面で実施することとし、対面参加が難しい方はＷｅｂで参加するという形でどうか。

(指宿市、南九州市)

- ・基本対面でＷｅｂ参加も可とする形でいいのでは。他の方の御質問を参考にすることもできるし、Ｗｅｂで質問もできるので。

(九州運輸局、枕崎市)

- ・対面かＷｅｂ、全員そろえた方が良いのでは。対面とＷｅｂで評価軸がずれる恐れがある。

(県南薩地域振興局)

- ・全員対面が望ましいが、各市が議会中などで日程調整が難しいのであれば、対面とＷｅｂのハイブリッドでせざるを得ないのでは。

(鹿児島県)

- ・皆さんの御意見を踏まえて、Ｗｅｂ参加者の環境にも十分配慮した上で、

対面とWebのハイブリッド方式で実施することとするがよろしいか。
→ 異議なし。

(神田教授)

- ・ 時間配分について、冒頭の説明時間は15分でいいと思う。質疑応答が20分、予備の時間を5分としたらよいのでは。 → 異議なし。

【書面審査について】

(神田教授)

- ・ 審査項目については、実施要領の審査基準から、実施体制や同種実績の他、企画提案書読み込めば一定の評価ができる項目を流用する。
→ 異議なし。

【審査基準について】

(南九州市)

- ・ 経済的価値の可視化について、手法はいろいろあるが、各社違った手法を提案してきた場合、我々ではどの手法が優位かという判断が難しいが、何か統一した評価基準は定めないか。
- ・ 手法によって経済価値の算出額も違ってくるのではないか。

(神田教授)

- ・ 経済的価値の可視化、定量化の手法は様々あるが、マニュアルに則った方法では、全体を拾いきれないのではないかと思う。数式の妥当性より、捉え方が合っているかという感覚の方が大事だと思う。
- ・ 算出額は違うだろうが、桁1つ違うというようなものではない。

(九州運輸局)

- ・ 採点者によって幅が出ないように、評価の目安を設けてはいかかがか。

(神田教授)

- ・ 5段階で評価し、採点する方法がある。
→ 5段階で評価する方法を採用する。

【今年度の進め方】

(指宿市)

- ・ 実証事業も実施する予定だが、規模感やスケジュール感は？

(鹿児島県)

- ・実証事業の進め方については、沿線地域の方が何をしたいのかということも聞いていく必要があるが、実施体制やスケジュールなど別途調整しながら、今年度しっかりと取り組んで行きたい。

(枕崎市)

- ・調査事業と平行して実証事業も実施するとのこと。また、ワークショップ等で地域の方の御意見を聞きながら実証事業の内容を決めていくとなった場合、時間がかかるので、ある程度事業案を示して、それをもとに地域の方と検討する方がスムーズに進むのでは。

(鹿児島県)

- ・調査事業の仕様書では、業務内容に実証事業の検証も含めている。具体的に何をするかは、ここで出てくるもの、地域の方との活動で出てくるもの両方あると思うので、丁寧に決めていきたい。スケジュール的にはきついですが、しっかりと進めていく。

(枕崎市)

- ・今年度の取組の中で、担い手伴走者の創出の検討は調査事業に含まれているか。それとも我々から働きかけていくのか。

(鹿児島県)

- ・我々が現地活動を行う中で見えてくる部分と、コンサルが外から見た視点でアドバイスいただく部分があると思われるので、その両面から、この部分も作っていったらいいのではないかと考えている。

以上